

検査内容変更のお知らせ

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のお引き立てをいただき、厚くお礼申し上げます。

この度、下記の検査項目につきまして、検査方法・基準値等を変更させていただくことに致しましたので、取り急ぎご案内申し上げます。

誠に勝手ではございますが、事情をご賢察の上、何卒ご了承の程お願い申し上げます。

謹白

記

変更内容変更項目一覧

案内書頁	項目コード	検査項目名	変更箇所	新	旧	備考
P.30	1449	ゾニサト [®]	検査方法	ラテックス凝集法(LA) [DSファーマバイオメディカル]	EIA [DSファーマバイオメディカル]	現行試薬の販売中止
P.30	1651	クロルプロマジン	検体量	血清 1.0ml	血清 2.5ml	LC-MS/MS法の採用
			検査方法	LC-MS/MS	GC-MS	
			所要日数	5~7日	7~13日	
P.38	1375	TSH刺激性レセプター抗体(TSAb)	検体量	血清 0.5ml	血清 1.2ml	現行試薬の販売中止
			検査方法	EIA [ヤマサ醤油]	RIA(二抗体法) [ヤマサ醤油]	
			基準値	120% 以下	180% 未満	
—	3108	IgG インデックス	報告成分(基準値)	インデックス (0.73 以下) IgG 髄液 IgG 血清 アルブミン髄液 アルブミン血清	インデックス (0.73 以下)	報告成分の追加 基準値の設定はインデックスのみ その他の成分の基準値は未設定(単位:mg/dl)

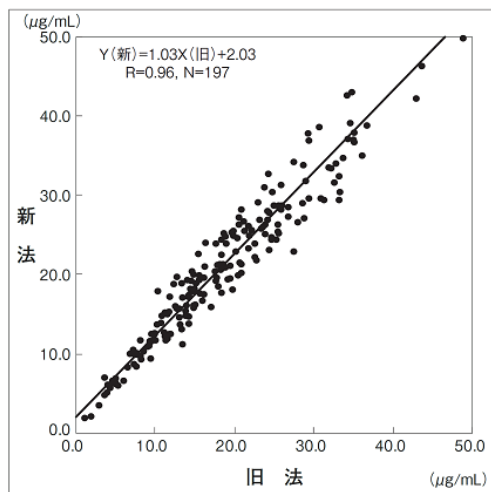
変更期日

- 平成 26 年 9 月 30 日(火) 受付日分より

ゾニサミド

現行試薬の販売中止に伴い、同一メーカーが販売するラテックス凝集法による試薬に変更致します。

新旧二法の相関



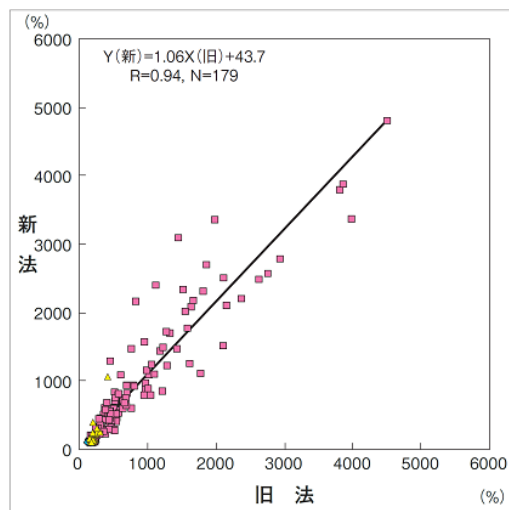
(LSI メディエンス検討データ)

TSH 刺激性レセプター抗体(TSAb)

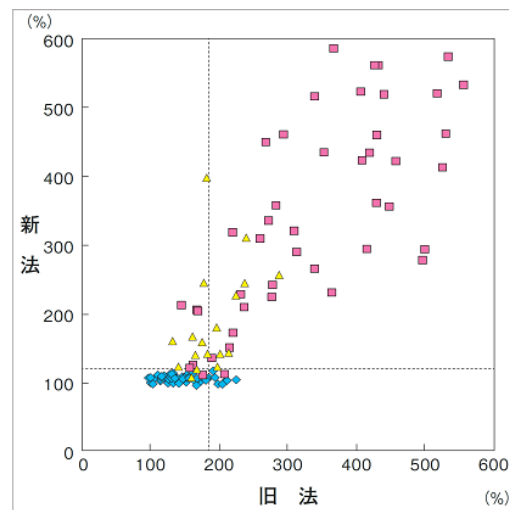
TSH 刺激性レセプター抗体(TSAb)の測定試薬を同一メーカーが販売する non-RIA 試薬に変更致します。新法採用により感度および特異性が向上し、未治療バセドウ病、バセドウ病再発での診断精度が向上致します。本変更に伴い、基準値をメーカー推奨基準値に変更致します。

新旧二法の相関

【全体】



【低値域】



■ …未治療バセドウ病 ▲ …バセドウ病再発 ◆ …健常人

(メーカー検討データ)

参考文献

上條桂一, 他: 医学と薬学, 71 (5), 903~911, 2014.